

新県立中央図書館基本構想の改定について

1 改定の経緯、前提

- ・東静岡駅南口県有地への移転整備について、建設工事の入札不調や、国の交付金の見通しが大きく変わったことに伴い、整備計画を見直すこととし、今回、基本構想の改定を行う。
- ・改定に当たっては、これまでの構想の基本的なコンセプトを踏まえつつ、社会情勢の変化や経済性・機能性を重視する。また、図書館の役割や機能などの重要な項目は、有識者会議の議論から知見を得て、構想に反映する。

2 主な改定内容

項 目	内 容
基本理念 【新規】	すべての県民の「調べる・考える・解決する・創造する」を支え、 しずおかの未来を創生する (現図書館が培ってきた基本姿勢を発展的に継承)
方向性 【新規】	○ 現県立中央図書館の長所の継承 現県立中央図書館がこれまで培ってきた高度な知的財産や専門的機能を次代へと確実に引き継いでいく。 ○ 県内のどこからでも利用できるサービスの充実 市町立図書館との連携やデジタル技術を活用した非来館型サービスの拡充により、すべての県民が「いつでも、どこからでも」県立図書館の豊かな情報資源とつながり、その効用を等しく享受できる環境を目指す。
目指す姿 【改定】	(1) 県民の探究心に応える情報拠点としての図書館 (2) 県内の市町立図書館等を強力に支援する図書館 (3) 県民の新たな交流や創造を生み出す図書館
施設整備 の方向性 【新規】	○ 建設地 東静岡駅南口県有地全体で最適な配置を検討 ○ 収蔵能力 今後 30 年間で見込まれる 150 万冊程度を上限 ○ 整備手法 民間活力導入を軸とし、最適な整備手法を検討 ○ スケジュール 開館時期は令和 10 年代中頃～後半

(参考) 基本構想の構成

項 目	内 容
第 1 県立中央図書館の 現状と課題	1 県立中央図書館の概要 2 現状と課題 3 再整備に係る経過
第 2 県立中央図書館を 取り巻く環境変化	1 人口減少の加速、人口構造の変化 2 建設物価高騰、県財政の悪化 3 ウェルビーイングの重要性の高まり 4 図書館の役割の変化 5 先端技術や電子書籍の普及、拡大
第 3 新県立中央図書館 の基本理念	すべての県民の「調べる・考える・解決する・創造する」を支え、しずおかの未来を創生する
第 4 新県立中央図書館 の方向性と目指す 図書館像	1 新県立中央図書館の方向性 (1) 現県立中央図書館の長所の継承 (2) 県内のどこからでも利用できるサービスの充実 2 新県立中央図書館の目指す姿 3 新県立中央図書館の役割と機能 (1) 県民の探究心に応える情報拠点としての図書館 ア 多様な学び・情報アクセス機能 イ 静岡県の文化の継承・発信機能 ウ 県民の読書活動推進機能 (2) 県内の市町立図書館等を強力に支援する図書館 ア 県内図書館ネットワークを支える中核的図書館機能 イ 市町立図書館の運営支援機能 ウ その他の機関等への支援機能 (3) 県民の新たな交流や創造を生み出す図書館 ア 人と人が、人と本が出会い、交流する機能 イ 文化の創造・発信機能 ウ 多様な知恵との協働が生み出す交流創造機能
第 5 新県立中央図書館 の施設整備、管理運 営の方向性	1 施設整備の方向性・スケジュール 2 管理運営の方向性